



2023年10月26日

各 位

会 社 名 ペ プ チ ド リ ー ム 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 リード・パトリック
(コード番号：4587 東証プライム市場)
問 い 合 せ 先 IR 広 報 部 デ ィ レ ク タ ー 沖 本 優 子
電 話 番 号 (0 4 4) 2 2 3 - 6 6 1 2

ブリストル・マイヤーズ・スクイブ社とのPDL1プログラムについて

ペプチドリーム株式会社（代表取締役社長：リード・パトリック、本社：神奈川県川崎市、以下「当社」）は、本日、ブリストル・マイヤーズ・スクイブ社（以下「BMS社」）から、PDL1治療薬のプログラムについて、BMS社内の他のプログラムとの優先順位付けの観点から、現在健常人を対象に実施している第1相臨床試験が完了した後は、第2相試験以降の開発は自社では継続しない旨の通知を受けましたのでお知らせいたします。

2022年4月28日より、BMS社は2010年10月以来両社で行われてきた共同研究開発において同定されたPDL1阻害ペプチドについて健常人に対する安全性と忍容性を検証するための第1相臨床試験（ISRCTN17572332）を開始しました。本試験の詳細については、情報開示の猶予に関する一定の基準を満たすことから非公開となっております。

BMS社は、今回の決定はあくまでビジネス判断によるものであり、本薬剤自体の安全性に関する懸念によるものではないと明言しています。現在実施している第1相臨床試験は、2023年11月に予定通り終了し、2024年前半には結果がまとめられる見通しです。当社は、BMS社からの報告書の内容を確認した上で、今後の別の形での開発継続の可能性について検討していきたいと考えています。

ペプチドリーム代表取締役社長CEOであるリード・パトリックは次のように述べています。「PD1/PDL1に対する抗体医薬品がすでに複数上市されていますが、新たなタイプのPDL1阻害剤に関する市場ポテンシャルは十分に大きいものと考えています。BMS社は豊富な開発ポートフォリオを保有しており、今般の決定は他のプログラムとの優先順位付けの観点によるものであるという点について我々は理解を示したいと考えています。本薬剤自体に安全性上の懸念は生じていないということ踏まえ、当社はBMS社からの臨床試験の結果を検証した上で、別の形での開発継続の可能性を含めた今後の選択肢について検討していきたいと考えています。」

本件による2023年12月期の当社連結業績に与える影響は軽微です。2023年2月14日に発表いた

しました業績予想に変更が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上